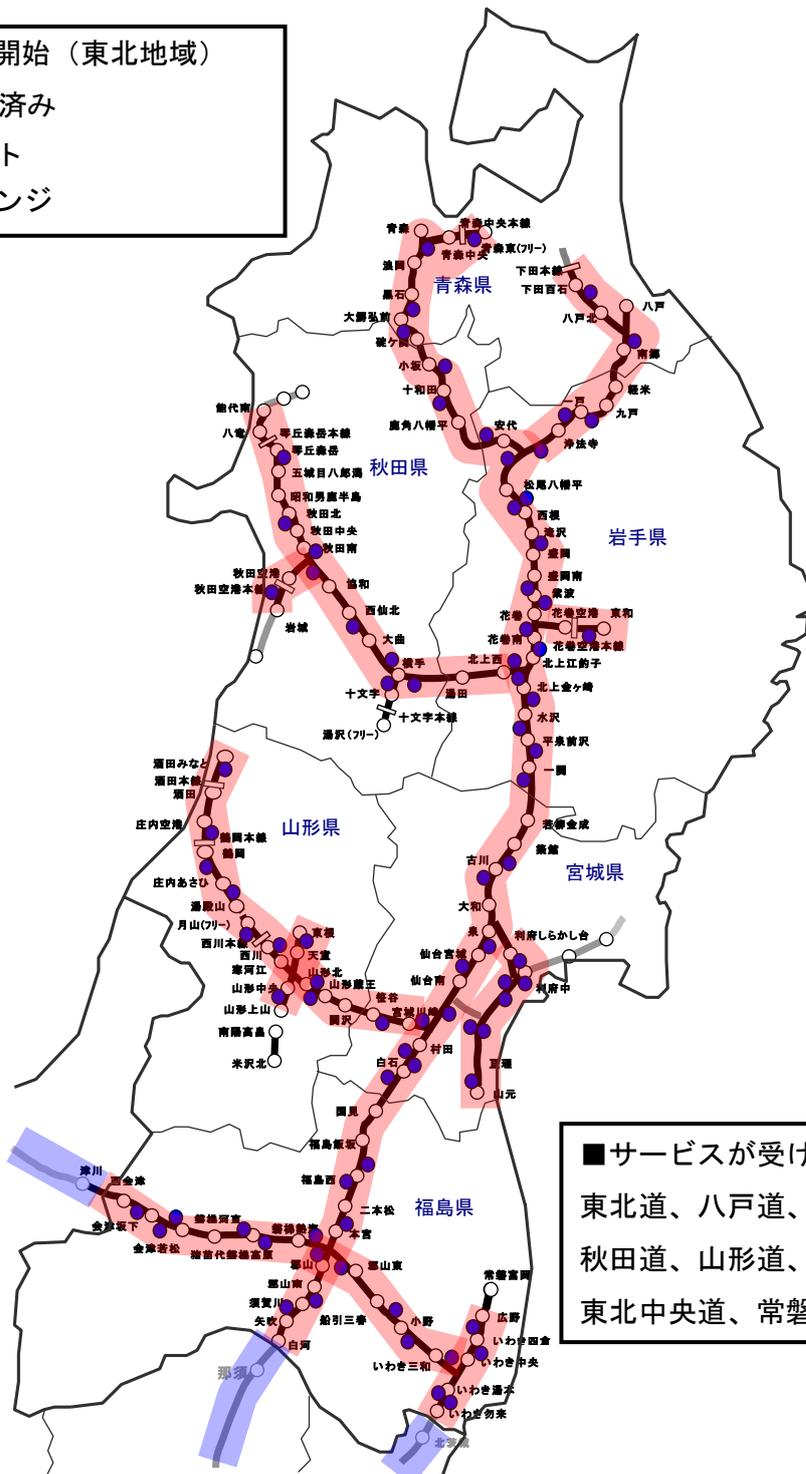


1. 東北地域のITSスポット配置図

東北地域の高速道路における約80箇所のITSスポットの整備が完了しました。既にサービスを開始している他の地域と併せ、約1,600基のITSスポットにより全国すべての区間でサービス開始となります。

- 今回サービス開始（東北地域）
- サービス開始済み
- ITSスポット
- インターチェンジ

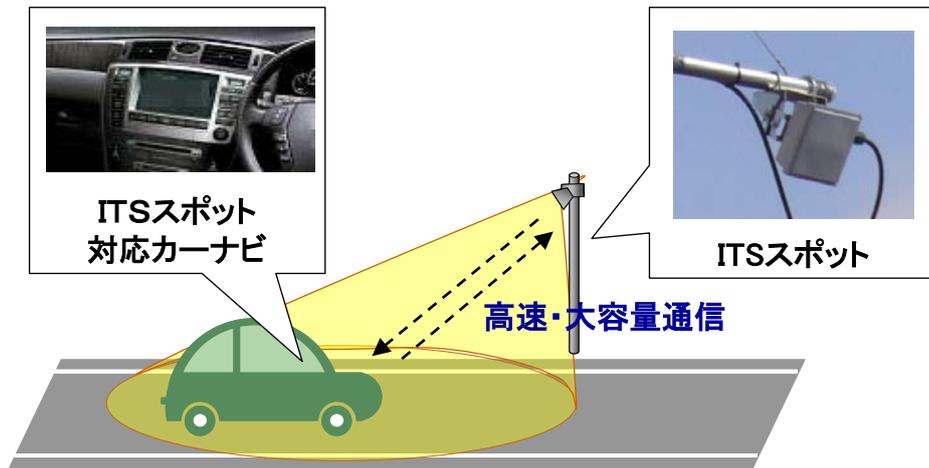


- サービスが受けられる道路
 東北道、八戸道、青森道、釜石道
 秋田道、山形道、磐越道、日沿道
 東北中央道、常磐道、三陸縦貫道

東北地域のサービス提供範囲

2. ITSスポットとは

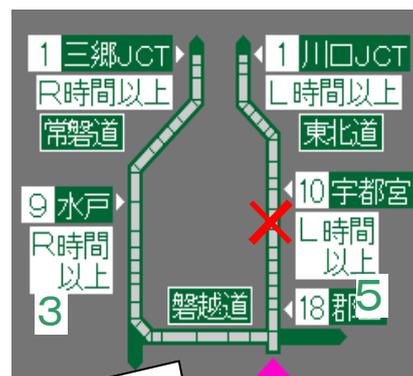
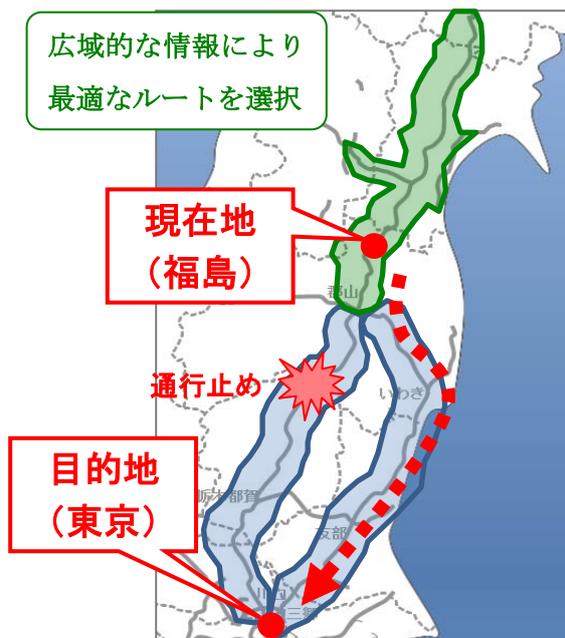
道路に設置した全国約1,600基の「ITSスポット」と自動車に搭載された「対応カーナビ」との間で高速・大容量通信を行い、広域な道路交通情報や音声、画像などの様々なサービス提供を展開します。



3. 3つの基本サービス

1) ダイナミックルートガイダンス

県境を越える広域的な道路交通情報がITSスポットでリアルタイムに配信され、カーナビが最速のルートを選べます。（これまでのFM-VICSでは都県単位のみで、都県を越えた配信ができませんでした。）



宇都宮方面の広域情報です。通行止めの情報です。事故によりおよそ120km先の宇都宮インターから矢坂インターの区間で通行止めとなっております。

[対応カーナビでの表示・音声の例]

2) 安全運転支援（ドライブ中のヒヤリをなくす事前の注意喚起）

ITSスポットから受信した交通事故、渋滞情報などの情報を蓄積し、障害物の手前でカーナビがドライバーに注意喚起します。とくに東北地域では震災後に増加したと言われている落下物や、今後の本格復旧に向け増加が見込まれる工事による通行規制など、事前にお知らせすることでより安全に運転できるようになります。



♪この先、左車線工事中。走行注意。



♪この先、落下物あり。走行注意。

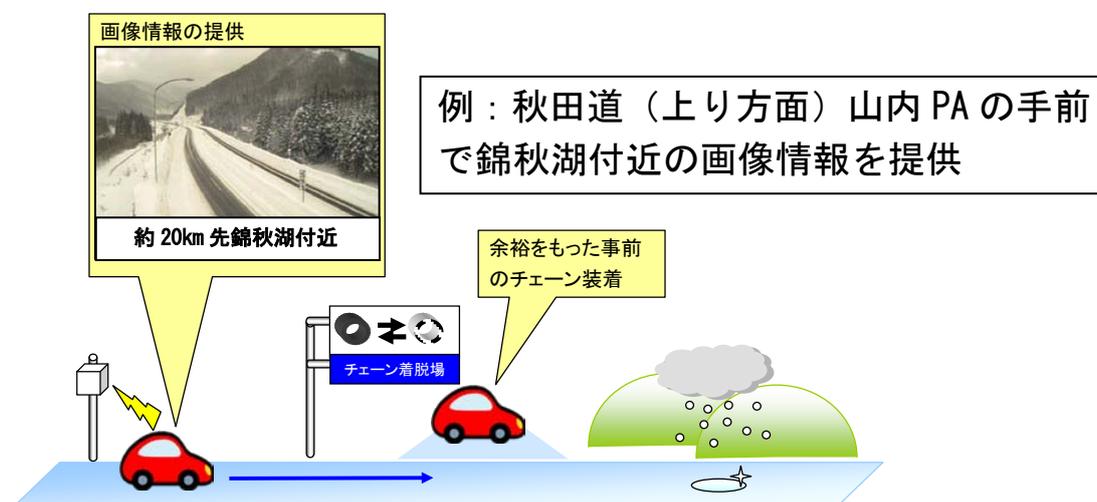
3) ETC

ITSスポットは、ETCと同じ通信技術を活用しており、対応カーナビを用いることで従来のETCのサービスも受けることができます。

4. 東北地域における特徴的なサービス

冬季の路面状況・積雪状況の画像等を、チェーン着脱場などの手前で提供することで、事前のチェーン装着やルート変更の判断がしやすくなり、より安全に運転できるようになります。

東北地域（東北道、磐越道、山形道、山形道、秋田道等）で33箇所実施。（全国では78箇所）



5. その他のサービス

一部機種ではサービスエリアや道の駅などにおいて、カーナビからインターネットに接続し、地域観光情報や施設情報などを入手することが出来ます。

○東北地域における接続可能箇所（2箇所）

- ・三内丸山遺跡駐車場（青森市）
- ・青森県観光物産館アスパム駐車場（青森市）

【インターネット接続のイメージ】

（機能）

